



こんにちは！株式会社のぐちです！12月です。朝晩の冷え込みが身にしみる季節となりました。この時期やばりなべ料理が美味しいですね。白菜、ねぎ、大根、春菊、鱈、牡蠣 e t c、ぜーんぶ冬が旬です。ところで、カリフラワーの旬が冬だっただけでご存知でしたか？いや～春の野菜かと思っていましたよ。カリフラワーはブロッコリーの突然変異から生まれたそうです。一般的な白色のスノークラウンやスノークィングの他に紫色のバイオレットクイーン、オレンジ色のオレンジブーケ、黄緑色でゴツゴツしているロマネスコなど種類もいろいろ。なんとなく格調高い野菜のような…キャベツの仲間ということは身体にも良さそうですね。それでは皆さま今月も明るく元気に宜しくお願い致します。

のぐち



12月の歳時記

「クリスマス」

街は色とりどりのイルミネーションやクリスマスツリーで飾られています。クリスマスは文字通りイエス・キリストの生誕を祝う降誕祭です。日本のクリスマスの歴史は1552（天文21）年に山口県で宣教師たちが日本人信徒を招いて降誕祭のミサを行ったことが最初とされています。江戸時代に入りキリスト教弾圧があったために明治時代の初め頃までクリスマスは受け入れられませんでした。1900（明治33）年、明治屋が銀座に出店し、クリスマス商品を販売し、広くクリスマスが受け入れられるようになっていきました。大正時代にはイルミネーションが街を華やかに飾り始めました。1926（大正15）年、大正天皇が崩御し、のちに12月25日が大正天皇祭（休日）と定められたことが、クリスマスの習慣がさらに普及する機会となったとも言われています。現在の日本はクリスマスを国家祝祭日としない国のひとつですが、昭和2年から昭和22年までの21年間はクリスマスは休日でした。その後不二家がクリスマスケーキを販売、デパートのクリスマス商戦が過熱するようになり、クリスマスは定着していきます。私もクリスチャンではありませんが、ツリーを飾り、ケーキやチキンをいただきます。やっぱりクリスマスは素敵な国民行事ですよ！

「では皆さま、今月も元気よく笑顔で伺いますので、笑顔でむかえて下さいね。」

これいいじゃん

便利グッズ研究会からのお知らせ

私たち「便利グッズ研究会」では独断と偏見で選び抜いた便利グッズを皆様にご紹介することを生きがいとしております。ハイ！今回ご紹介するのは、

「デコロール」

「デコロール」は、コンパクトなスティック形状のローラー式スタンプ。コロコロと転がすだけで、手帳や日記、ノート、カードなどを淡いカラーのインクで好みの長さに飾って楽しめる、新しいタイプのデコレーションツールです。最大の特長は、新開発の専用インク。紙の裏にインクが移りにくく、上から色を塗ってもにじみにくいので、きれいに仕上がります。淡いカラーを生かして、背景全面を色付けしたり、目立たせたい予定をアンダーラインしたり、またインクの上から文字や色を重ねたりとデコレーション方法は自由自在。コンパクトで握りやすく、狙った箇所にスタンプできる視認性の高い設計です。机の上やペンケースに入れても場所をとりません。印面幅は5mmと11mmの2種類。5mm幅の「キリトリ」「チェック」「ボーダー」、11mm幅の「みずたま」「お花」「葉っぱ」の計6種類。いろいろ使えて「これいいじゃん」ってわけ。ぜひ皆さまも試してみてくださいね。



DECO ROLL



小売
希望価格
500円
(税別)

先月、三歳の娘の保育参観お遊戯会がありました。長い間、「コロナの影響で最少人数の観覧となっていました。しかし、今回からはお互いのおばあちゃんも観覧できることになりました。普段、家で過ごしている間も娘はお遊戯会で踊ると思われた「しまじろう」のダンスを動画で見ながら合わせて踊ったりして、私が「○○ちゃんはこのダンスおどるの？」と聞くと、娘は「うん、これおどるの」と事前に教えてくれました。そして当日、カメラを準備して待っていると可愛い衣装に着替えた女の子が、「しまじろう」のダンスを踊り始めました。しかし、娘の姿が見えませんでした。そうしているうちにダンスは終わってしまいました。その後、男の子のダンスが終わり、また可愛い衣装に着替えた女の子が「ちびまる子ちゃん」のダンスを踊り始めました。再度、撮り始めたら娘が歌いながら楽しそうに踊っている姿が目につきました。私達もおばあちゃん達も成長した娘（孫）の姿に感動し頼もしく見えた一日でした。

業務 堀江でした。

スタッフ登場